

# 自治会 あつぎ 第69号

## 目 標

- ◎みんなの手で育てようあすの自治会を
- ◎地域づくりは市民の民主的・自発的活動から
- ◎行政と協働で築く豊かな地域社会

平成28年3月15日発行

発行 厚木市自治会連絡協議会  
 編集 厚木市自治会連絡協議会広報部会  
 電話046(225)2101

ネットは

## 地域のふれあいを 大切にしよう

厚木市自治会連絡協議会

自治会では、防犯や防災、環境美化への活動などを、地域の皆さんと協力して取り組んでいます。多様化する社会に自治会はどのように向き合っていくべきでしょうか。

### 信頼できる地域づくりを

住みよい地域をつくるために、自治会では、お祭りや子どもたちの登下校の見守り、地域の美化活動など様々な地域活動に取り組んでいます。こうした自治会の活動とともに、住民同士が顔見知りになり、地域のつながりを深めています。

しかし、近年では、市内にも空き家や空き地が増えており、地域の中で目の届かない場所が増えているのではないのでしょうか。

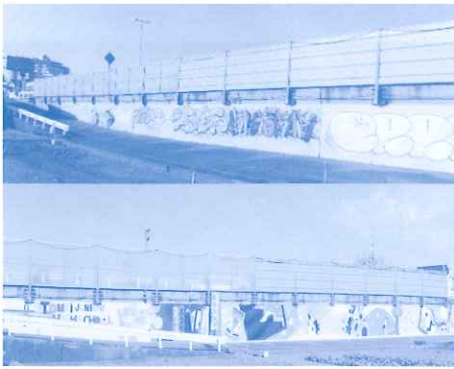
自治会として地域の管理されていない空き家を減らすための活動に取り組んでいる伊藤重文さん（鷹尾四丁目自治会長）は、「日頃の見守り活動などの際に声掛けを行うことで、顔見知りになり、信頼

関係を築けるように努力をしている」と話します。転居や入院など生活の変化により、長期間家を空けてしまうことは、防犯や防災の観点からも好ましくはありません。

### 自治会としてできること

そのようなときに、日頃から地域で共に暮らす自治会の方に転居先への連絡方法などを伝えていただけると、もしものときに迅速な対応ができます。

地域における課題が多様化している今だからこそ、自治会活動を通じた交流が大切です。地域の交流の場を作り、地域の住民同士が助け合えるような関係づくりを、自治会では目指してまいります。



▲落書きを消して、地域の子もたちと壁画を描きました。

### 自治会活動の見える化 に取り組んでいます

自治会ってどのような活動をしているのかをもっと知っていただくため、各地区の特色のある活動を、「Facebook」を利用して、情報を発信しています。

### 平成27年度役員紹介

会 長	前場 政行 (玉川)
副 会 長	山村 勝美 (睦合南)
会 計	神保 忠男 (森の里)
庶 務	大澤 雄次 (睦合北)
	渡邊 征一 (南毛利南)
	三田 哲夫 (厚木南)
	加藤 和正 (依知北)
	渡邊 勝三 (依知南)
	池永 和夫 (睦合西)
	毛利 昇 (荻野)
	山田 充 (小鮎)
	前田 満 (南毛利)
	菊池 美明 (相川)
	佐々木安雄 (緑ヶ丘)
	陣内 忠彦 (厚木北)
	足立原 将 (厚木南)
	堀口恵太郎 (依知北)
	倉田 光政 (依知南)
	山口 末夫 (睦合北)
	石井 勝巳 (睦合南)
	栗原 富栄 (睦合西)
	高橋 修一 (荻野)
	横岩 康平 (荻野)
	松本 享一 (小鮎)
	山口 泉 (南毛利)
	前田 征治 (南毛利)
	高澤 浩通 (南毛利南)
	高橋 正一 (玉川)
	永嶋 信一 (森の里)
	大貫 太郎 (相川)
	笹山恵一郎 (緑ヶ丘)

### ひとりひとりの顔が分かる町内に

厚木北地区

東町自治会

会長 會田 俊彦

東町自治会は、南北200m、東西150m程の小さな自治会です。防犯パトロールでは、町内の方に声掛けをしながら歩いても、20分もあれば完了。そんな小さな自治会だからこそできる「ひとりひとりの顔が分かる町内」を心がけて、日々自治会活動に取り組んでいます。

しかし、個人情報保護やプライバシーもあり、住民の生活に深入りすることはできません。町内の方々が、自分達で仲間づくりができるよう



祭りの子どもみこし

に、その手助けをするのが自治会の役割だと考えています。その方策として、自治会役員と共に「楽しい自治会活動」を実施しています。

春は、花見やグラウンド・ゴルフ。夏は、子どもみこしや盆踊りにバーベキュー。秋は、運動会と日帰りバス旅行。冬は、どんと焼き。

このような活動を通じて、ご近所同士が顔見知りになり、笑顔で挨拶を交わし、立ち話をする間柄になれば「防犯や防災に強い町内」になります。

そのためにも、役員一同で協力して活動してまいります。

### 依知地区南北合同 駅伝・マラソン大会

依知南地区

下依知自治会

会長 渡邊 勝三

依知地区では、平成15年から合同駅伝・マラソン大会を開催しています。

競技種目は自治会対抗の部、中学生の部、オープン参加(複数自治会の混合チーム)で、30チーム190人の選手の参加をいただき開催しました。



各自治会のたすきをつなぐ

コースは上依知・猿ヶ島・山際・山ノ根地区の田園内道路で、第1区から第5区それぞれが約3キロから2.4キロの距離で競います。

同時開催される、依知地区南北合同マラソン大会は地区内の小学校3年生以上の児童で約1.2キロのコースで、12月13日に小雨降るなか、大変盛り上がりました。

この大会は、走る速さばかりを競うのではなく、各自治会の代表選手は、地元の期待を背負い、みんなの応援の中でたすきをつないでいくことで絆を深めていきます。各世代の人達が自然に交流していきます。地域活動の基礎が形成されていきます。大会終了後は、自分の思いなどを伝え合

### 住民の絆と環境美化活動

睦合北地区

根岸自治会

会長 有澤 實

い、地域交流の難しさや面白さについて意見を交わしたり、連絡先を交換したりするなど、新たな絆が生まれる場にもなりました。

見かけると、とても嬉しく感じます。以前は、1時間半位の時間が掛かっていましたが、慣れた現在では、和気あいあいのうちに40分ほどで終了します。

これからも地域の人が交流を深める場としても、多くの方に参加していただきたいと思えます。

その後は、参加者に麦茶やお茶が振る舞われ、情報交換の場としてお互いの近況を確認しております。

第1自治会と第2自治会に待望の新自治会館が完成したのが、平成24年10月でした。翌25年総会の決議を以って統合し、根岸自治会として新たに発足いたしました。会員は現在702世帯が加入しております。

他にも、各団体による年20回の「防犯・火の番パトロール」、年43回の「笑顔の子どもに会えるパトロール」を実施継続中です。

地域のほぼ中央に位置する、根岸スポーツ広場の草取り及び側溝の清掃を恒例行事として実施しております。

世代を超えた住民との協働の下、健康維持と「安心安全なまち根岸」を目指して、セーフティの推進地域は更に邁進いたします。

8組75班からなる組織が、4月から10月まで、二組ずつの編成で、70から80人の方々も参加してくれまます。その中でも、お子様から、お爺ちゃん、お婆ちゃんまで一家総出で協力していただける家族を



スポーツ広場の清掃

# より良い地域づくりを 目指して

## 睦合西地区

林第二自治会  
会長 池永 和夫

睦合西地区は、及川・林・王子一丁目を区域とする8自治会で構成されており、活動の拠点は睦合西公民館です。公民館は、新しく駐車場も広いことから利用率が高い公民館です。

しかし、悩みは地区外の利用者が多い反面、地区の人たちの予約が取りにくく、公民館へ訪問する人が少ないことです。いかに地区の人たちに公民館を訪れてもらうかが課題で、各種の取り組みを行っています。なかなか成果が上がっていませんでした。

そこで、例年実施している公民館まつりと市制60周年の記念イベントを合わせて開催し、実



昔の遊びとおもちゃ広場

施時期も秋に前倒し、公民館行事への参加のきっかけにしようと考えました。

当日は、「昔の遊びとおもちゃ広場」「トランポリン模範演技と体験コーナー」「中国楽器の揚琴（ようきん）演奏会」などが実施され、盛り沢山で賑やかな公民館まつりになり、自治会として参加、協力を呼びかけた結果、初めてイベントの運営に参加する人も現れました。

さらに、別日に実施した「子供映画鑑賞会」「睦合西史跡めぐり」「自治会対抗グラウンド・ゴルフ大会」にも、今まで公民館、自治会のイベントに参加しなかった方々も含め、多くの方々が参加し、交流を深めることができました。

自治会役員として運営に携わることも大切ですが、参加者と一緒に楽しむことができるイベント、運営方法に努めれば参加者も増え、より良い地域活動ができるのではとの思いを深めたイベントでした。

## 地の利を得た住みよいまちで 人の輪と和を築く

### 南毛利南地区

坊中第二自治会  
会長 福井 勝治

坊中第二自治会は、愛甲石田



餅つき大会の1コマ

駅や東名厚木バス停まで徒歩5分から10分、国道246号線や小田原厚木道路、東名高速道路のインターチェンジへのアクセスも良く、交通の便に恵まれています。区域内には近隣一帯の氏神様と言うべき熊野神社が鎮座し、愛甲宮添とも称されていました。

正月は近隣の人々が、熊野神社に初詣に訪れ、秋の例祭では境内に屋台が並び、当自治会の子どもみこしや他の自治会の子どもみこしも神社に参集し、太鼓とお囃子が賑やかに響きます。

自治会の主な行事の2つが、この神社の境内の一部を借りて開催されています。

「納涼の夕べ」では、子ども会、みこし保存会、自治会役員らがかき氷、焼きソバ、焼き鳥、飲み物等の模擬店を出店しまし

た。そこでは、会員が談笑し、最後はビンゴゲームとお楽しみくじを実施しました。

年末美化清掃後の「餅つき大会」では、薪を赤々と燃やしたかまどで餅米を蒸し、あんこ・きなこ・からみ・伸し餅を提供しますが、極め付けは地域の方の協力・指導によるセミプロ級の手作り大福です。また、大釜2杯の豚汁も振る舞い、普段は静かな境内も大いに賑わいます。

今後も熊野神社境内や自治会館での楽しいイベントを通じて人の輪と和を広げ、住みよいまちが築けたらと思います。

## 新たな納涼祭

### 玉川地区

大畑・日向川一部自治会  
会長 三橋 貞夫

玉川地区は小野・岡津古久・七沢の3地区15自治会で構成されています。

その中、七沢地区自治会の納涼祭は、昨年までの開催場所から、今年は七沢神社の氏子さんのご好意で七沢神社境内にて、開催する運びとなりました。

各協賛団体のご協力を得ながら、動き始めたのが6月中旬でした。会場の広さが昨年より狭くなりますので「人の温もりと

ふれあいの広場」をテーマにして、調和の取れたレイアウト作りを皆で考え作り上げました。メインのやぐらの舞台を神社境内の中心に設置し、取り囲むように参加者の休憩施設のテントを配置し、みんなの力で盆踊りを盛り上げられる様にしました。

納涼祭の楽しみの一つである出店も、子ども会、育成会、商栄会の皆様に運営していただきました。

初めての会場で、色々戸惑った面も多々ありましたが、今更以上に来場者が増えたことは、主催者として大変嬉しく思います。短時間で開催にこぎつけましたが、今年の反省点を生かし、これからもより一層皆様に愛され、足を運んでいただける納涼祭にしたいと思います。



納涼祭の様子

### 子ども会の活躍

森の里地区

森の里三丁目自治会  
会長 宮野 利美

森の里地区は30周年を迎えました。その中で、三丁目自治会は、森の里地区の真ん中に位置し、昭和63年発足以来、28年が経ちました。

3丁目自治会の特長は、子ども会が自治会の中に組み込まれ、一緒に活動していることです。夏祭りでは、子ども神輿を自治会館で作って、夏祭りの当日町内を練り歩きます。平成27年度は「出目金魚」の力作でした。敬老の日には、子ども達が一枚、一枚にメッセージを書いて、お年寄りに贈って、大変喜ばれています。お年寄り子ども達の大事な交流の場となっています。秋の交流祭では大人と一緒に



お餅を配る子ども達

に、さつま芋掘りを体験し、その後のバーベキューでは、子ども達がピザ作りを行います。

年末には子ども達と長寿会の皆さんと協力して、防犯パトロールを行っています。

新年の餅つき大会では、餅つき同好会の皆さんに協力してもらい、80キロのお餅をつきます。そのつきたてのお餅を子ども達も可愛いエプロン姿で配ってくれるので、大人にも「ありがとう」とお礼を言ってもらえます。

3丁目自治会の活動では、子ども達が大活躍しています。今後ともより一層、地域の交流を図っていききたいと思えます。少子化が進む中で、今や子どもは地域の花であり、将来の森の里を担ってもらえればと願っています。

### 自治会活動で深まる地域の絆

相川地区

中戸田自治会  
会長 岩崎 嘉雄

中戸田自治会では、年末美化清掃の実施に向けて、組長会議や回覧、当日は地区内を回り、ハンドマイクで参加を呼びかけています。

年末清掃を実施する際には「豚汁」「あんこ・きな粉餅」を全員に配られることが周知さ



好評だった豚汁とお餅の配布

れ、多くの参加者が集まります。準備は、青少年健全育成会、子ども会等の方々に協力をいただいております。

食材は、近所の農家が生産した餅米や野菜を使用し、安心して地産地消にも役立っています。今年も美味しく出来上がり、皆さんニコニコ顔で、豚汁にお餅を入れて食べる人も出る程好評でした。途中で追加もしましたが、各300食はあっという間に、終わってしまいました。

清掃に参加してくれた男子中学生に感想を聞いてみると「タバコの吸い殻やガラスの破片が多く捨てられていた。綺麗になると気持ちよかったです。来年も参加したい」とのことでした。

美化清掃や自治会行事を通じて、多くの隣人が集まり、顔見知りとなることで連帯意識が高まることになると思います。災害発生時の共助に役立ち、被害

を減らすことにつながるのではないかと感じました。

### 荒れ地からの半世紀

緑ヶ丘地区

奥原地区自治会  
会長 福本 泰彦

奥原地区自治会は、緑ヶ丘団地の南、尼寺工業団地と本厚木カンツリークラブに挟まれた地域で、昔の住所は、温水字奥原と飯山でした。団地も工場も建設中で、子どもの背丈ほどの雑草の生えた荒れ地と畑しかない所で5戸ほど住居があったと記憶しております。

ところが、団地と工場が完成したと同時に、一気に住宅や会社の寮などが建ち、南毛利地区奥原自治会として活動が始まりました。

緑ヶ丘小学校が完成し、学区は緑ヶ丘小学校区となり、地域内の飯山地区にも住居が増え、尼寺工業団地の数社が入会され、200戸を超える自治会となり、小学校区と異なっていたため、地域の要望により、緑ヶ丘地区へ編入されました。

編入の際に、自治会名を当時はまだ住所が温水字奥原、飯山のままでしたので、当時の自治会役員が熟考の上、奥原地区自治会と命名されました。

その後、奥原と飯山の住所をまとめ、20年ほど前に緑ヶ丘五丁目と住所が変更されました。

自治会では、地域内の企業と共催する夏祭りが34回を数え、防災訓練、緑ヶ丘地区のふるさと祭り、運動会、各種スポーツ大会などに取り組んでいます。また、回覧板を回す時に高齢者宅への手渡し、声掛けをする「愛の手渡し運動」を行っています。

50年を経て、約300世帯を超える自治会となりました。高齢化率の高い緑ヶ丘地区の中でも人口増加が見られる地域ですが、高齢化対策は重要な課題だと思えます。

今後は、行事的見直しや役員の選出など会員の方々のご意見を伺い、全会員が安全で明るく楽しい生活が送れる地域を目指して、より大きな絆をつくりたいと役員一同で活動中です。



にぎわうふるさとお祭り